

火災ゼロ NEWS

安全で安心な暮らしをサポート！
火災予防に関する様々な情報をお届けします。

「新しい生活様式」にひそむ 「火災危険」にご用心！

安全で安心な「新しい生活様式」のため、
「新しい火災予防」を紹介します。

「新しい生活様式」とは、家庭や外出先、学校、職場などの様々な場面において実践するべき感染防止対策です。

しかし、それらの思わぬところに、火災の危険がひそんでいます。



○消毒用アルコールの引火

感染予防のため以前にも増して使用頻度が高まっている消毒用アルコールですが、実はとても引火しやすい液体です。

引火とは、火気が液体や固体から発生する可燃性の蒸気に燃え移ることを言います。

例えばガスコンロで料理をする前などに消毒用アルコールを使用した時は要注意です。

ガスコンロの火がアルコールの可燃性蒸気に引火し、やけどや火災を引き起こす危険性があります。

また、これからの季節は、ストーブの近くなど高温になる場所に放置しておくと、アルコールが気化して容器が破裂し引火する危険性もありますので、保管場所にも注意が必要です。

Check!

消毒用アルコール 取扱い上の注意点

1. 使用する際は、
周囲で火気を使用しない
2. 容器を落下させたり、
衝撃を与えない
3. 直射日光が当たる場所や
高温になる場所で保管しない
4. 詰め替えるときは、
あふれ、飛散させない



郡山消防YouTubeチャンネルより

【消毒用アルコール燃焼実験動画】

○飛沫防止用シートの火災

お店のレジカウンターやフロント、職場の会議室やデスクなど様々な場所に設置されるようになった飛沫防止用シートですが、そのほとんどが熱に弱く燃えやすい素材でできています。

実際に、商業施設において、誤って飛沫防止用シートの近くでライターを使用し着火する事例がありました。

また、設置場所によっては、自動火災報知設備やスプリンクラーが正常に作動しない、避難の妨げになる場合がありますので、ご不明な点がありましたら最寄りの消防署などにご相談ください。

Check!

飛沫防止用シート 取扱いの注意点

1. 火気を取扱う場所から
距離を離す
2. 感知器や
スプリンクラーから離す
3. 誘導灯を隠さず、
避難経路に設置しない
4. 燃えにくい素材を選ぶ
(防災品・固い板状のもの等)

火災も新型コロナウイルス感染症も、どちらも正しく予防しましょう。



消毒用アルコール燃焼実験動画
(郡山消防YouTubeチャンネル)